

子ども発達学科教授 豊田 和子

1. 研究活動

(著書)			
『実践を創造する 保育原理』(編著) (豊田和子、石動瑞代、市野繁子、大野僚、鈴木恒一、田岡由美子、鶴宏史、寺部直子、内藤由佳子、中村強士、橋本信子、平野仁美、深澤悦子)	2016. 3. 20	みらい	2015年度施行の「子ども・子育て支援新制度」を受けて、これからの保育所や幼稚園に求められる保育の原理を述べた。豊田は編者として全章の責任と、全14章中、第1章と第14章を執筆した。第1章「保育とはなんだろう」では、人間の子育ての社会的意味と保育という言葉の歴史的意義を解説し、子どもの最善の利益保障の考えを持つことの意義を述べた。第14章「保育をめぐるこれからの課題」では、揺れ動く社会と保育の課題、多様な保育サービスの必要性、保育の質保証の課題などを説いた。(全199頁中、豊田は11-23頁、183-196頁執筆)
『新・保育原理 すばらしき保育の世界へ(第3版)』(共著) (三宅茂夫、小川圭子、佐藤和順、角野幸代、高岡昌子、 <u>豊田和子</u> 、浜野兼一、日坂歩郁恵、福田規秀、宮地勢津子、森久佳)	2016. 3. 20	みらい	本書は、子どもの人格形成に大きく影響を与えることに寄与する保育の役割と意義について述べた。保育の場や我が国の指針、保育所の保育原理、安全や健康などを取り上げた。全12章中、豊田は第10章「育ちや学びの連続性を考える」を執筆した。そこでは、保幼小の連携の必要性、幼児期から学童期への育ちの連続性と非連続性のとらえ方、保幼小の連携の課題について、具体例を挙げながら説いた。(全222頁中、豊田は175-188頁を執筆)
(学会発表)			
(共同)「福岡県における戦前の保育研究会—北九州保育会を中心に—」 (清原みさ子、 <u>豊田和子</u> 、寺部直子)	2015. 8. 29	日本教育学会第74回大会 (お茶の水女子大学)	科学研究費受託による福岡県の戦後保育史研究を進める中で、福岡県保育連盟を始めとする保育研究会の取り組みが着目された。「北九州市保育研究会」の歴史的変遷、研究会の内容、研究会のもたらした意義などを史資料の解析に基づいて明らかになったことを発表しました。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目名 保育者論		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
保育者の職業がよくわかるように、授業の何回かをDVDやVHSなどの視聴覚教材を使用し、その都度、学生に学習テーマ（小課題）を与えて、レポートを書かせると湯に工夫した。	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD [よいこの味方] ・レヅジョエミアのVHS ・フランスの幼稚園のDVD ・日本の幼稚園のDVDなど 	
授業科目名 保育原理		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回の授業で、ワークシートを作成し、授業内容のポイントがわかりやすくなるよう工夫した。提出したワークシートは、学生に返却して、復習に役立つように配慮した。	自著「シードブック 保育原理」（建帛社）	
授業科目名 大学院：幼児教育特演		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
保育の現場に学ぶというテーマでは、それぞれ特色ある理念と方法で保育が行われている幼稚園・保育所を数か所訪問して、半日以上を観察学習を取り入れることで、臨場感を持った学修を提供した。		

3. 学会等および社会における主な活動

日本乳幼児教育学会	2015. 6	学会誌「乳幼児教育学研究」第24号論文査読
全国保育士養成協議会	2015. 7	学会誌「保育士養成研究」第35号論文査読
日本保育学会	2015. 12	学会誌「保育学研究第54巻」論文査読
中部教育学会	2016. 1	学会誌「中部教育学研究紀要」第16号論文査読
名古屋芸術大学生涯学習講座	2015. 11. 4	講師「3～6歳児 ここを大切に」
豊田市保育師研修会	2015. 8. 20	講師「主任としての役割」
教員免許更新講習	2015. 8	名古屋芸術大学実施 講師
愛知県現任保育士養成協議会	2015. 8	講師「乳児保育の基本」
特例講座	2016. 1～2	講師「乳児保育」